



各 位

平成 18 年 11 月 9 日

会 社 名 稲畑産業株式会社

代表者名 代表取締役社長 稲畑 勝太郎

(コード番号 8098 東証 1 部・大証 1 部)

問合せ先 執行役員財務経理室室長 横田 健一

(TEL. 03-3639-6421)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、この度、平成 18 年 5 月 16 日に公表した中間期（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日）及び通期（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想数値を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間業績予想数値（連結・単体）の修正

(連結業績)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	214,000	3,600	2,700
今 回 修 正 予 想 (B)	223,000	4,000	3,450
増 減 額 (B-A)	9,000	400	750
増 減 率 (%)	4.2	11.1	27.8
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期中間)	199,700	3,980	3,291

(単体業績)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	149,000	1,500	560
今 回 修 正 予 想 (B)	155,700	2,300	1,640
増 減 額 (B-A)	6,700	800	1,080
増 減 率 (%)	4.5	53.3	192.9
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期中間)	143,322	1,955	11,132

(修正の理由)

単体におきましては、情報電子分野のフラットパネルディスプレイ (FPD) などを中心に売上高が伸長し、当初予想を上回りました。加えて販売費及び一般管理費の減少の効果もあり、経常利益は当初予想を上回りました。また、当期利益につきましても子会社清算に伴う貸倒引当金の戻し入れ等により当初予想を大きく上回りました。

連結におきましては、欧州、米州の一部子会社の業績悪化があったものの、単体の改善要因に加えて、新規連結対象会社の増加が寄与し、売上、経常利益は当初予想より増加しました。また、当期純利益につきましても、子会社での土地売却益等の特別利益発生もあり、当初予想に比べて増加しました。

2. 平成19年3月期通期業績予想数値（連結・単体）の修正
（連結業績）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	430,000	7,400	4,600
今回修正予想（B）	440,000	7,400	4,600
増減額（B-A）	10,000	0	0
増減率（％）	2.3	0	0
（ご参考） 前期実績（平成18年3月期）	423,374	7,572	4,638

（単体業績）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	300,000	3,300	1,300
今回修正予想（B）	310,000	4,000	2,200
増減額（B-A）	10,000	700	900
増減率（％）	3.3	21.2	69.2
（ご参考） 前期実績（平成18年3月期）	290,371	3,663	10,624

（修正の理由）

単体におきましては、中間業績予想の修正に合わせて通期の業績予想を修正いたします。

連結におきましては、中間業績については売上、利益とも当初予想を上回ると見込まれるものの、国内、欧州及び米州の一部子会社の下期の業績悪化が予想されることを踏まえ、経常利益及び当期純利益につきましても当初予想を修正しておりません。

（注）本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績は様々な重要な要素により、記載された見通しと大きくかけ離れた結果となりうることをご承知おきください。

以上